

	立候補者名・所属	立候補の理由・抱負
理事	小田原悦子 聖隷クリストファー大学	日本における作業科学の発展，特にグローバルな視点で学術面の啓発に微力ながら努めてまいりましたが，まだまだ途中の状態です．引き続き活動させていただきたく，理事に立候補します．
理事	近藤知子 帝京科学大学	日本の作業科学は，諸外国とは異なるあり方で発展しています．日本において作業科学が世界と調和しつつも独自の社会的，文化的ニーズに応え，さらに発展していくための方法を探っていきたいと考えます．また，作業科学という学問領域に興味・関心を持つ研究者の育成に貢献したいと考えます．
理事	ボンジェ・ペイター 首都大学東京	本研究会は 2006 年設立以来，全国で研究会を開催し，会員も増えてますます発展をしていこうとしています．私は理事に立候補するにあたり，次の点をより強化することに貢献したいと考えます．それは，本会に，もっと科学的視点を組み込むことです．具体的にはジャーナルや OS セミナーに研究報告を増やしたいと考えます．そして，そのために他の学問分野ー人類学，社会学，脳科学などーとの交流をすすめたいと考えます．
理事	吉川ひろみ 県立広島大学	学術団体としての活動が活発化するよう努力します．
理事	古山千佳子 県立広島大学	日本の作業科学研究会の円滑な運営のために，事務局の仕事を継続していきたいと思います．また，わが国において作業科学研究や作業に基づく作業療法実践がより発展するよう，微力ながら力を尽くしていきたいと思います．
理事	渡辺慎介 専門学校 YIC リハビリテーション大学校	作業科学と出会い，学ぶ中で，それまで揺らいでいた OT 観，アイデンティティが確立されていったような感覚を得ました．作業科学という学問に救われました．私と同じように OT 観に悩む作業療法士とともに高め合う場がほしく，また作業科学の知識を私の故郷山口に広めたいと思い，勉強会を立ち上げました（山口，作業維新の会）．徐々に作業科学を学ぶ場は増えているとは思いますが，全国規模の研修会は少なく，学ぶ機会・情報交換のツールが不足していると思われます．また，全国各地で行われている勉強会に関しましても単独で行われている印象が強く，横のつながりが希薄なようにも思っています．全国各地への講師派遣も含め，作業科学を学ぶ場をこれまで以上に提供し，既存のツールだけに頼らない方法で上述した横のつながりを高められるよう努力します．よろしく願い致します．

理事	西方浩一 文京学院大学	今回で三期目の立候補になります。前期と同様に広報活動の一環であるホームページを通じ、情報発信、案内を他部署と連携しながら実施したいと考えています。また、他の広報活動であるメーリングリスト、ニュースなどの活用も検討したいと考えています。
理事	村上典子 豊見城中央病院	作業療法を見つめ直す時機に作業科学に出会えたことが、私自身にとっての大きな財産でした。今後は日本における作業科学の発展に貢献できるよう、微力ながら尽力したいと考えております。どうぞ宜しくお願いいたします。
理事	酒井ひとみ 関西福祉科学大学	作業科学に関する研究について学ぶ機会づくりをしたいと思えます。
理事	青山真美 西九州大学	現在、機関誌『作業科学研究』の編集事務局を担当しています。質の高い研究誌を目指すとともに、多くの方に親しみをもって読んでいただき、「作業」に関心を寄せていただけるような編集に努めたいと思えます。
監事	葉山靖明 株式会社ケア プラネッツ デイサービス けやき通り古賀	日本作業科学研究会の意義ある活動に寄与したいため、立候補いたします。
監事	齋藤さわ子 茨城県立医療大学	作業を中心に様々な知識や技術をうみだすことで、社会や個人の健康や幸せに貢献できることは、多いと思っています。又、作業科学の発展が、作業的不公正に人々が気づくことにつながると思えます。監事という役割を担い、発展に寄与したく、立候補致します。